

役員会報告

昨年11月19日金曜日に高鷲文化財保護協会の役員会を町民センター会議室にて行いました。出席者は馬淵会長、和田副会長、山下副会長、麦島顧問、山田顧問と事務局の本田さんの6名でした。主な議題は次の通りでしたので会員の皆さまにお知らせします。

- (1) 高鷲町文化財の保管保存のために歴史資料館設置のため市長・教育長へ陳情することについて（教育長と話し合う）
- (2) 蛭ヶ野開拓排水路を新しく文化財にする方法について（土地の所有者の意向を聞く）
- (3) 湿原植物群落(板橋)及び鷲見の立石の下草刈り奉仕活動について（来年度実施する）
- (4) 市文化財マップの配布について（すぐに配布する）
- (5) 来年度研修旅行先について（アンケートの結果、鎌倉方面とする）
- (6) その他
 - ・五郎作の紅梅の標柱について（郡上一揆の会が立てる）
 - ・吉十郎浄土の標柱について（検討する）
 - ・表彰者の候補について

高鷲の文化財紹介

夫婦滝

昭和57年1月29日村指定

長良川源流吹谷にあって2本仲良く並んで流れ落ちているのでその名がある。もともとは駒ヶ滝といわれていた。近年になりいつの日からか、その姿形から夫婦滝と呼ぶようになった。

言い伝えによると泰澄大師が、白山開踏探索の際、水垢離し行念された所といわれている。

（夫婦滝は国道156号線吹谷のカーブから100m入る）

（高鷲村の文化財より）



鷲見の立石

（昭和31年9月29日村指定）

鷲見より鷲ヶ岳登山道途中にある。古よりの自然崇拝の一つである巨石信仰の遺跡である。

里人は山の神様として畏敬し、その近傍へ決して近づけないとしていた。天明の頃(1781)、郡上藩の儒者江村北海というがくしゃがいて、その書「濃北紀遊」に「有霊鷲孤峯特立三十丈奇秀無比赤松翠柏、不仮寸土而生茂隼鶴常巢其上」と記されており昔から世に聞えていた。

（鷲見の立石は県道鷲見惣則線立石キャンプ場からすぐ）



次号は懸仏と正会正田碑及び飛騨街道跡を記載する予定です。